

Φ2

数学

きほん

名前

式による説明

月 日

れい

偶数 $2n$ 、奇数 $2n + 1$ 、3の倍数 $3n$ 、2けたの自然数 $10a + b \cdots$ 整数を文字の式で表す。

$3n + 3 = 3(n + 1) \rightarrow n + 1$ は整数だから、 $3(n + 1)$ は3の倍数 $\cdots 3 \times (\text{整数})$ の形にする。

1 数を文字の式で表す

次の数を、文字を使った式で表しなさい。

- ☐ (1) n を整数とすると、3の倍数
- ☐ (2) n を整数とすると、奇数 $2n + 1$ の次の奇数
- ☐ (3) n を整数とすると、7の倍数

2 説明を完成させる

次の説明の □ にあてはまる式やことばを答えなさい。

- (1) 連続する3つの整数の和は、3の倍数になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕 n を整数とすると、連続する3つの整数は、 n 、 $n+1$ 、 $n+2$ と表される。

それらの和は、 $n + (\text{ア} \boxed{}) + (n + 2) = 3n + 3 = 3(\text{イ} \boxed{})$

イ は整数だから、 $3(\text{イ} \text{ })$ は ウ である。

- (2) 偶数の2乗は、4の倍数になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕 n を整数とすると、偶数は $2n$ と表される。

その2乗は、 $(\text{ア} \boxed{})^2 = \text{イ} \boxed{} = 4 \times n^2$

n^2 は整数だから、 $4 \times n^2$ は ウ である。

できた		/ 5問
-----	--	------

